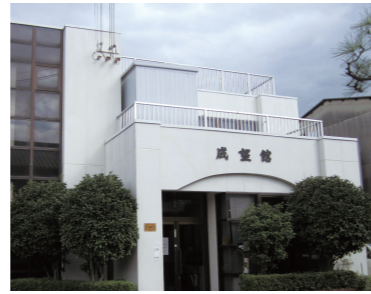


成望館設立の主旨

地域に在住する障がいをもった人たちの働く場を設定し、そこで働くことによって日々生き甲斐を感じて暮らせるように……という親たちや地域の方々の願いから、この地に施設をつくりました。「成望館」とは、「障がいをもつ人たちが、自分の希望を成し遂げる」という意味でつけたものです。

施設の概要

| | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 竣工式 | 平成2年8月30日 |
| 事業開始 | 平成2年5月30日（共同作業所 成望館） 平成14年9月1日（小規模通所授産施設 成望館） 平成20年4月1日（就労継続支援B型 成望館） |
| 法人役員 | 理事6名 監事2名 評議員13名 |
| 入所定員 | 25名（現員 名） |
| 職員 | 常勤：館長・サービス管理責任者・生活支援員（各1名） 職業指導員（3名）非常勤：（調理員1名・指導員2名） |



成望館の生活信条

わけんあいご
「和顔愛語」

いつもにこやかな顔

あたたかみのある言葉を

生活の信条としています

基本的な処遇の方針と目標

利用者の処遇に当たっては、(1)作業指導、(2)生活指導を中心としています。しかしそれらは切り離して行うものではなく、相互に連携して行うものであるが、便宜上作業指導、生活指導にわけて進めています。

また、この指導により、「就労の機会」「自立した日常生活・社会生活」が出来ることを終局の目標としています。

作業種

- | | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 下請作業 | ①菓子箱折、シール貼り、箱紙切り、写経丁合、など |
| 自主製品 | ②マブリング：ハンカチ、レターセット、一筆箋、ポチ袋など ③押し花：シール、しおり、クリアファイルなど ④和紙製品：人形ポチ袋、人形耳かき等 ⑤ビーズ：キーホルダー、ストラップ、めがねホルダー、指輪など ⑥樹脂粘土：ストラップ・マグネット・押しピン・ヘアピン、ブックマーカーなど |

館生の日課

- | | |
|-------|------------|
| 9:15 | 朝礼、ラジオ体操 |
| 9:30 | 作業開始 |
| 10:40 | トイレ休憩 |
| 10:50 | 作業再開 |
| 12:00 | 手洗い・うがい・給食 |
| 12:30 | 歯磨き |
| 13:00 | 作業開始 |
| 14:15 | 休憩・ティータイム |
| 14:30 | 作業再開 |
| 15:30 | 作業終了・掃除 |
| 16:00 | 終礼 |
| 16:15 | 退館 |

年間・月間行事

毎月

お誕生会
健康チェック
歩道橋・町内清掃
はみがき教室

花見
絵画教室
ふれあいまつり
新年会
忘年会&クリスマス会
親睦旅行
映画会等
健康診断
歯科健診
避難訓練
大掃除
ボウリング・カラオケ
外出行事
個人面談

年間

週番の活動

- ①朝礼、終礼の運営
- ②ティータイムの準備

給料日

毎月25日
ボーナス日（7/20、12/20、3/20）

給食

1食300円で、栄養と健康に配慮した昼食を提供しています。残菜もほとんどなく皆、心待ちにしています。

生活訓練プログラム

高齢化と重度化に伴い平成23年7月から、月1回、希望者にレクリエーションと機能訓練を兼ねてペットボトルボウリングを行いました。25年度から月4回に増やし、①ペットボトルボウリングまたは輪投げ、卓球バレー②ミュージックケア③絵画（アート）④カラオケに取り組んでいます。回を重ねるごとに自主性や協調性が見られ、週1回の楽しみになって来ています。



毎日の仕事となるとしんどい時もあります。でも美しく、正確に、早くを目標に楽しく作業しています。

